



1歳のお誕生日が来たら受けましょう!

水痘(水ぼうそう)・MR(麻しん風しん) 予防接種のお知らせ

水痘予防接種

接種費用は無料です。

※水痘(水ぼうそう)にかかったお子さんは受けられません。

【水痘対象者】 1歳～3歳未満

※3歳以上のお子さまは有料になります。
受け忘れのないようご注意ください。

【接種回数】 3か月以上あけて2回接種します。

※標準的には6月～12月までの間隔をおいて2回接種

★3か月以上の間隔をあけて2回接種しますが、**2回目が3歳を超えた場合は定期接種できません。有料になります。**

【接種場所】 指定医療機関 ※必ず予約を入れてください。

※MRとの同時接種も可能です。
詳しくは医療機関へお問い合わせください。

【持参する物】 母子手帳、予診票

※予診票は「予診票綴り(緑小冊子)」から切り離してご使用ください。

※転入者で予診票をお持ちでない方は子ども子育て応援課へご連絡ください。



◎水痘とはどんな病気・・・

水痘-帯状疱疹ウイルスの感染で起こります。感染力の強い病気で空気感染・飛沫感染・接触感染によって広がり、5歳までに約80%の小児がかかります。

水痘の主な症状は発疹、発熱です。発疹は、丘疹、水泡、膿瘍、痂皮と移行します。合併症としては、稀に肺炎、気管支炎、肝炎、皮膚の細菌感染症、心膜炎、小脳炎、髄膜炎、などがあります。水痘-帯状疱疹ウイルスは、水痘が治った後も神経節に潜伏し免疫力が低下した場合に帯状疱疹を発症することがあります。

◎水痘ワクチンとは・・・

水痘-帯状疱疹ウイルスを弱毒化した生ワクチンです。

◎注意点と副反応・・・

発熱・発疹および局所の発赤・腫脹が7%に、稀に接種直後から翌日にかけて過敏反応(発疹、じんましん、紅班、かゆみ、発熱等)があります。

重大な副反応としては、稀にアナフィラキシー、急性血小板減少性紫斑病があります。

MR(麻しん風しん混合) 予防接種

麻しん(はしか)と風しんの混合予防接種です。接種費用は無料です。

【MR対象者】 1歳～2歳未満

※2歳以上のお子さまは有料になります。
受け忘れのないようご注意ください。

【接種回数】 1回

【接種場所】 指定医療機関 ※必ず予約を入れてください。

※水痘との同時接種も可能です。
詳しくは医療機関へお問い合わせください。

【持参する物】 母子手帳、予診票

※予診票は「予診票綴り(緑小冊子)」から切り離してご使用ください。

※転入者で予診票をお持ちでない方は子ども子育て応援課へご連絡ください。



◎麻疹とはどんな病気・・・

麻疹ウイルスの空気感染（飛沫感染）によって起こります。感染力が強く、予防接種を受けないと、多くの人がかかる病気です。

◎主な症状：発熱、せき、鼻汁、めやに、発疹を主症状とします。最初3～4日間は38℃前後の熱で、いったん下熱後、再び39～40℃の高熱と発疹がでます。高熱は3～4日で解熱し、次第に発疹も消失しますが、しばらく色素沈着が残ります。

◎主な合併症：気管支炎、肺炎、中耳炎、脳炎などがあります。患者100人中、中耳炎は約7～9人、肺炎は1～6人、脳炎は約1,000人に1～2人の割合で発生がみられます。また亜急性硬化性全脳炎（SSPE）という慢性に経過する脳炎は約10万例に1～2例発生します。

◎風疹とはどんな病気・・・

風疹ウイルスの空気感染（飛沫感染）によって起こります。

◎主な症状：軽いかぜ症状で始まり、発疹、発熱、首の後ろのリンパ節が腫れるなどが主症状です。眼球結膜の充血もみられます。発熱も発疹も3日程度で治るので「三日ばしか」と呼ばれることがあります。

◎主な合併症：関節痛、血小板減少性紫斑病、脳炎などが報告されています。血小板減少性紫斑病は患者3,000人に1人、脳炎は患者6,000人に1人くらいです。大人になってからかかると重症になります。

【主な接種医療機関】 接種の際は必ず予約が必要です。

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
県立大島病院	52-3611	みんなの診療所	62-5010
政小児科内科医院	52-0017	奄美中央病院	52-6565
朝沼クリニック	52-0337	笠利病院	55-2222
せきクリニック	55-0070	ファミリークリニックネリヤ	57-7177
かずや内科	53-6020	記念クリニック	55-2271
つばたクリニック	57-7771	むかいクリニック	55-1777

★ その他にも接種できる医療機関があります。詳しくはお問い合わせください。

※必ず医療機関に**予約**をしてください。

※受診前に本案内や予診票綴りと同時に配布してある『予防接種手帳』をよくお読みください。



予防接種前の注意事項について

接種を受けることができないお子さん	接種を受ける際に注意が必要なお子さん
①明らかに発熱（通常37.5℃以上）をしている場合	① 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気や発育障害などで治療を受けているお子さん
②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかなお子さん	② 予防接種で、接種後2日以内に発熱のみられたお子さん及び発疹、じんましんなどアレルギーと思われる異常がみられたお子さん
③その日に受ける予防接種の接種液に含まれる成分で、アナフィラキシーを起こしたことがあることが明らかなお子さん	③ 過去にけいれん（ひきつけ）を起こしたことがあるお子さん
④その他、医師が不適当な状態と判断した場合	④ 過去に免疫不全の診断がなされているお子さん及び近親者に先天性免疫不全症の方がいるお子さん
	⑤ ワクチンの製造過程における培養に使用する卵の成分・抗生物質・安定剤などでアレルギーがあるといわれたことのあるお子さん

接種後の注意点

- ① 予防接種を受けた後30分程度は、急な副反応が起こることがあります。医療機関で様子を見ましょう。
- ② 接種後、1週間程度は副反応の出現に注意しましょう。
- ③ 接種部位は清潔に保ちます。入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすらないでください。
- ④ 当日は、激しい運動は避けましょう。



<問い合わせ先> 子ども子育て応援課 予防接種係 ☎:69-4555